

文化科学研究科学生セミナー交流会について

交流会 1（セミナー1日め）概要

タイトル：「知的資源共有化への試み - 洛中洛外図屏風歴博甲本を題材に - 」

主旨：専攻紹介

目的：知的資源共有化への試み

内容：ひとつの題材を、各専攻のアプローチで解説、

各専攻の思考の方法を説明し、他専攻へ紹介することを目的とする

形式は自由だが、レジュメや配布資料等は用いず、

口頭およびパワーポイントを使用した発表とすること

実行委員を中心として、専攻の参加者全員で発表準備をし、発表者を決める

15 分の発表、質疑応答あり

平成 17 年度の題材：

洛中洛外図屏風 歴博甲本（歴博所蔵）

多岐にわたる専門分野を擁する文化科学研究科の中で共有するには、

モノ資料が適していると判断した

今回は多彩な読み方ができ、かつ基盤機関の所蔵品である貴重な歴史資料であることから

この絵画資料を扱うこととした

国立歴史博物館 HP で閲覧可能な画像をもとに、各専攻の方法で、これを解説する

http://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/getdocrd.pl?tn=1&ti=41064&h=./history/1131994342_12397&ch=1&p=param/syuz2/db_param&o=1&k=20&l=&sf=0&so=

当該資料の原品を毎年文化の日前後に展示（通常は、洛中洛外図屏風諸本のレプリカを随時展示替えしている）

見学を希望される方は、文化科学研究科対応室までご連絡ください。